

福德岡ノ場の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

2 月 12 日、海上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海域で変色水及び気泡が確認されました。

福德岡ノ場では、今後も海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

2 月 12 日、海上自衛隊の協力により福德岡ノ場付近で上空からの観測を実施し、引き続き変色水域を確認しました（図 1、2、5）。変色水はほぼ南北に並んだ 2 ヶ所から湧出しており、北側の湧出域は狭い範囲からまとまって湧出し、南側の湧出域は北側より広い範囲で多点から湧出していました。海面が盛り上がるような湧出は認められませんでした。変色水の色は乳白色で、南側の湧出域では一部黄褐色がかった部分も見られました（図 3）。

湧出域では気泡が確認されましたが（図 3、写真中の白い筋）、噴気や浮遊物は認められませんでした。

また、赤外熱映像装置により海水面の表面温度を測定したところ、湧出域ではまわりの海水温と比べてわずかに高い温度を示したことから（図 4）、周囲の海水より温度の高い熱水の湧出が続いていると考えられます。

福德岡ノ場では、2 月 3 日に小規模な海底噴火が発生しました（図 6）。その後、4 日、5 日、7 日及び 10 日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福德岡ノ場からの噴煙は認められず、付近の海面に浮遊物とみられるものと変色水が確認されています。



図 1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布図



図 2 福德岡ノ場 変色水の状況（2 月 12 日、海上自衛隊の協力による）

上図：東側上空から 14 時 11 分撮影、下図：南側上空から 14 時 42 分撮影

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

※この資料は気象庁のほか、海上保安庁のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）



図 3 福德岡ノ場 南側上空から撮影した湧出域の状況
（2 月 12 日 14 時 34 分南側上空から撮影、海上自衛隊の協力による）

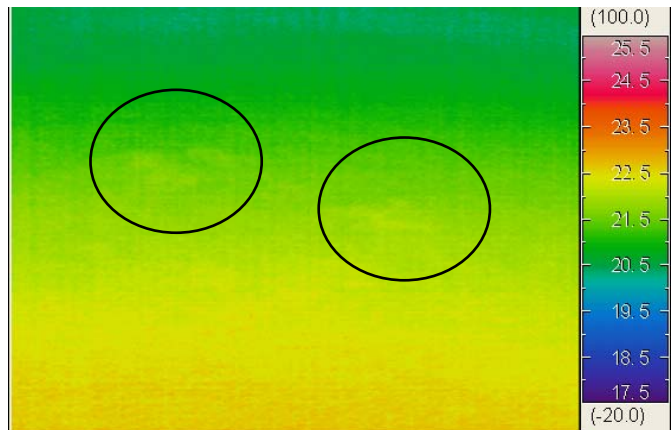
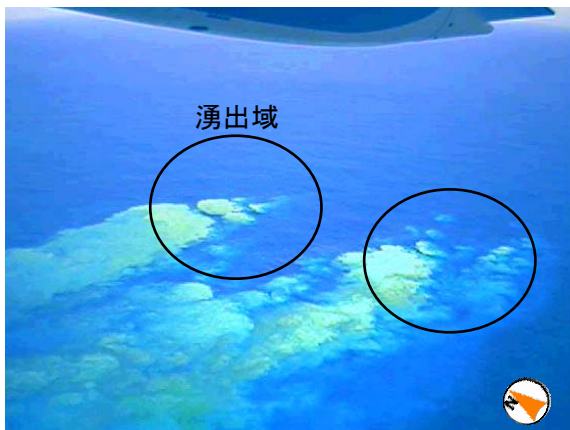


図 4 福德岡ノ場 湧出域付近の表面温度分布（2 月 12 日 14 時 35 分 西側上空から撮影）
湧出域ではまわりの海水温と比べてわずかに高い温度を示している（○部分）



図 5 福德岡ノ場 2 月 12 日の変色
水域の概略図



図 6 福德岡ノ場 2 月 3 日の海底噴火
（14 時 27 分頃撮影）